

## 第21回 岩野卓さん（大分大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第21回目は、岩野卓さん（大分大学）にご執筆いただきました。

### 「嗜癖」と「幸せ」の仲介役を目指して

昨今のTVでも薬物の話は多いですが、薬物と人間の関係は古くからあるようです。一方で、嬉しいことがあってパチンコ、薬物、お酒に走ったという話は聞きません。不思議に思ったことはないでしょうか。

私の専門は「嗜癖行動」と「ポジティブ心理学」という、似ても似つかない2つの領域ですが、どちらも人間の生活に密接な関係があるものです。今まで、大学生のメンタルヘルス向上に向けた一次予防や、薬物依存のドロップアウトなどを研究してまいりました。研究と臨床のブリッジングは、とてもエキサイティングな課題だと思います。大学生でも患者様でも「自分の望む生活を送りたい」という点は共通していますので、心理学的な貢献ができるような研究をしたいと思っております。

岩野卓さん（Suguru IWANO）

【ご所属】 大分大学福祉健康科学部

【ご連絡先】 iwano-suguru@oita-u.ac.jp

【ホームページ】 ありません

【その他】 アルコール依存への集団精神療法や、ポジティブ心理学的介入の研究を行っております。ご興味がある方がいらっしゃいましたら、ご一報頂けますと幸いです。